



ご挨拶

本日は“*A-Winds46*”2015年夏の演奏会にお越し下さり、誠に有難うございます。「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で皆様方と、こうしてお逢いすることができましたことに、*A-Winds*一同、心より感謝申し上げます。

1999年10月“アンサンブル”という少人数の音楽スタイルの延長上に位置付け“ウィンドオーケストラ”と称し、大人数編成で、遷都1300年の歴史を誇る奈良の都に発足しました。

同年の秋に初の舞台“デビュー演奏会”を開催、以後四季折々に開催する、*A-Winds*の定期演奏会も、第46回目を迎えることができました。これもひとえに、我々*A-Winds*の活動、そして共に音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援の賜物と心より御礼申し上げます。

今回は客演指揮者に松下裕之氏をお迎えをし、メインプログラムには作曲者のスパーク氏自身が心惹かれた宇宙を反映したとされる、出版以来の大人気曲“宇宙の音楽♪”をお届けいたします。

氏曰く「宇宙空間のいたるところに出現する“小惑星帯と流星群”は危険性があるものも無いものも、選択の余地なく地球へ頻繁に迫ってくるその情景を描写した後、この曲は“未知への問い”を内に秘めながら、壮大なエンディングへと向かう」とのこと。

我々の演奏のエンディングは、その問いに対し、何を感じ、何を表現できるのか。乞うご期待です♪

未来行き 次の駅は 青い地球

*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

本日は、“*A-Winds46*”2015年夏の演奏会へお越し頂き、誠にありがとうございます。

46回目を迎えました今回の演奏会は、吹奏楽ならではの響き、迫力を感じて頂けるような曲を中心に、吹奏楽オリジナル作品、管弦楽曲からの編曲作品を織り交ぜたプログラムと致しました。聴き馴染みのある曲も盛り込んでおりますので、最後までお楽しみ頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本公演開催にあたりご支援を賜りました関係の皆様、心より御礼申し上げます。

“*A-Winds46*”2015年夏の演奏会実行委員長 桶谷牧子・佐藤良一



ご案内

“*A-Winds 47*”2015年 秋の演奏会

2015年11月1日(日) 14:00開演 やまと郡山城ホール 大ホール

“*A-Winds47*”2015年秋の演奏会は、1部に「行進曲 秋空に」「枯葉」など、「秋らしさ」をテーマとした曲想のステージ、3部では、*A-Winds*の委嘱作品である「SUKU-SUKU」をはじめ、*A-Winds*らしいサウンドをお楽しみいただけるようなステージを企画しました。2部には、アンサンブルステージを企画しています。皆様に聴き馴染みのある曲を、それぞれのグループの音色でお楽しみいただけたと思います。皆様と共に、秋のひと時を楽しむことができれば幸いです。ぜひ、ご来場下さい。

“*A-Winds47*”2015年秋の演奏会 実行委員長 フルート&チューバパート



*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Flute & Piccolo

佐藤 由加里
佐藤 司
魚谷 陽子
小谷 愛奈

Oboe

桶谷 牧子
初岡 文子*

Bb Clarinet

竹村 明恵
森本 幸恵
近藤 晴美
中西 亜麻音
山崎 麻里子
星野 和子

Alto Clarinet

大西 晴己

Bass Clarinet

塩崎 風咲子

Bassoon

満江 孝文

Soprano & Alto Saxophone

島田 博一
三宅 利幸

Tenor Saxophone

初岡 和樹

Baritone Saxophone

八木 理

Horn

久野 耕三
大田 雅美
佐伯 直人
富川 陽太

Trumpet

魚谷 昌克
表 恭子
竹腰 綾香
井上 寛治
谷田 弥生
鎌田 麻友
山本 洋介

Trombone

小泉 文浩
田中 由美
木下 真由美
松岡 まゆみ

Euphonium

藤村 晃世
尾登 勇介

Tuba

杉浦 小道
堤 正治郎*
阪東 遥平*

Contra Bass

佐藤 良一

Percussion

久保 寛美
松嶋 春香
梶本 雅子
小野 聖子
森田 晶
早川 健太郎

Piano

八木 真木

Stage Manager

伊藤 耕平*

Announce

境 貴子*

団員=43名

*=エキストラ

“*A-Winds46*”2015年 夏の演奏会 実行委員

実行委員長	Ob. 桶谷牧子・Cb. 佐藤良一
プログラムノート	Cb. 佐藤良一
宣伝 (ミニレター)	Tu. 杉浦小道
宣伝 (web)	Sax. 島田博一
宣伝 (マスコミ)	Tb. 田中由美
宣伝 (チラシ)	Hr. 大田雅美・Pf. 八木真木
印刷	Fl. 佐藤 司
渉外	Ob. 桶谷牧子



2015年6月28日(日) 13:30開場/14:00開演
やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ
後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・奈良県吹奏楽連盟



プログラム & プログラムノート

第1部 指揮：魚谷昌克

三日月に架かるヤコブのはしご JACOB'S LADDER TO A CRESCENT

- 真島俊夫 (Toshio Mashima)
- 出版：De Haske
- 演奏時間：約8分

関西学院大学吹奏楽部創立40周年記念の委嘱作品であり、タイトルの「三日月」は同大学のシンボル（校章）にちなんでいます。また、「ヤコブのはしご」は旧約聖書の創世記の中に登場する、ヤコブが夢で見た天への梯子のことを意味しています。それは、双子の兄エサウとのいさかいから、命を狙われる危険性を心配した母リベカの勧めにより伯父ラバンのもとへ旅をするヤコブが、その途中で石の枕に横たわり野宿をした時のこと。眠りにつくと、天に達する梯子が地に届いており、天使たちがそれを昇ったり降りたりするという夢をみます。そこへ神ヤハウェが現れ、自分の子孫が偉大な民族になるというお告げを頂く、という内容です。曲想は、この「ヤコブのはしご」を、遙か彼方に美しく蒼く光る「三日月」の端に引っかけて、その高さに到達した憧憬を描写したものになっています。

組曲「ガイヌ」 Suite “Gayaneh”

- アラム I. ハチャトリアン (Aram Ilych Khachaturian)
- ／稲垣 卓三 (Takuzo Inagaki) 編曲
- 出版：全音楽譜出版社
- 演奏時間：約18分

アルメニアの集団農場（コルホーズ）と、それに隣接するクルド族の住む山地区を背景に、愛と友情、勇気と団結を描いた愛国的、民族的な4幕6場のバレエ音楽です。曲のタイトルは女性主人公の名前で原語では「ガヤネー」ですが、日本ではフランス語読みの「ガイヌ」で知られています。バレエは初演から改訂がなされていますが、そのあらすじは、「主人公ガイヌの夫ギコは極悪非道で罪に罪を重ね、果ては綿花倉庫に放火して逃亡を図ってしまう。ガイヌは改心を迫るが、ギコは妻にまで重傷を負わせてしまい、駆けつけた国境警備隊によりギコは捕えられる。隊長の看護でガイヌは心身共に傷も癒え、2人に愛が芽生えたところで終幕を迎え、2人の結婚の宴を中心に民族舞踊が華やかに踊られる。」という、いかにも社会主義圏のバレエらしい内容になっています。

1. 剣の舞 (Sabre Dance)
黒海沿岸南部のクルジスタンの山間に住むクルド族が、出陣に際して踊る戦闘的な舞踏曲です。ガイヌの中で最も有名と言っても良いこの曲は、初演の前日になって、剣を持って舞うにふさわしい新しい舞曲が必要だという事になり、明け方近くによく発想を得たもので、激しいリズムが特徴的です。
2. 子守歌 (Lullaby)
ガイヌがギコとの間に生まれたわが子リブシクを寝かしつける場面で演奏される曲で、優美で抒情的な音楽です。
3. バラの乙女達の踊り (Dance of Young Maidens)
バラで飾ったコーカサス地方の澆刺とした娘たちが、宴の中で歓送の踊りを披露する場面での曲です。清纯でしなやかな娘たちの身のこなしが、活気に満ちたリズムと歯切れの良い旋律で表現されています。
4. ガイヌのアダージョ (Gayaneh's Adagio)
主役であるガイヌの踊りで、緩やかに優美な舞踊を行う場面での曲です。
5. レズギンガ (Lezghinka)
コーカサス山脈北東に住むレズギ族特有の郷土舞踏で、元来は回教圏のもので緩やかな舞踏ですが、バレエでは野性的で色彩的な効果を盛り上げるため、テンポの速い曲となっています。

第2部 客演指揮：松下浩之

「キャンディード」序曲 Overture to “Candide”

- レナード・バーンスタイン (Leonard Bernstein)
- ／クレア・グランドマン (Clare Grundman) 編曲
- 出版：ハル・レナード (Hal Leonard)
- 演奏時間：約5分

フランスの哲学者ヴォルテールことフランソワ・マリー・アルエの小説「キャンディード」または楽天主義説」を原作とした作品で、ミュージカルともオペレッタとも思える曲ですが、作曲者は「コミカル・オペレッタ」と分類しています。あらすじは、ドイツの片田舎の城で暮らしていた主人公である天真爛漫な青年キャンディードが、城主であるツンダー・テン・トロンク男爵の娘と恋に落ちるが、男爵の怒りに触れ、城を追放されることから始まります。その後は、死んだと思った人間が生き返ったり、無一文が大金持ちになったりと、奇想天外で複雑な筋書きですが、最後は様々な苦難を経験して人生観が変わり、あるべき人生に目覚め帰還した主人公が再度プロポーズをするという内容で、この序曲には物語の要素が凝縮されています。

マーチ「プロヴァンスの風」 March “Wind of Provence”

- 田坂 直樹 (Naoki Tasaka)
- 出版：全日本吹奏楽連盟
- 演奏時間：約4分
- 今年度の吹奏楽コンクールの課題曲の1つです。作曲者によると、“風”はスペインから始まり、Trio (中間部) ではプロヴァンスへ、最後はまたスペインへ帰ってくるイメージが曲に表現されています。

宇宙の音楽 Music of the Spheres

- フィリップ・スパーク (Philip Sparke)
- 出版：アングロ・ミュージック (Anglo Music)
- 演奏時間：約18分

2005年にNBAレヴェリ作曲コンテストの最優秀賞に輝いたこの曲は、“宇宙の起源”と“果てなき宇宙の深淵”について作曲者が純粋に心惹かれたことを反映した作品で、本日の客演指揮者の松下先生も所属しておられた大阪市音楽団 (現 Osaka Shion Wind Orchestra) により、作曲者本人も聴く中、大阪のザ・シンフォニーホールにて平成17年6月、世界初演として演奏されました。曲は切れ目なく続く3つのセクションで構成されており、冒頭は『t = 0』を喚起するホルンのソロではじまります。このセクションでは、宇宙の誕生 (ビッグバン) の瞬間には、(時間・素粒子・重力・磁力など) すべてのものが無 (ゼロ) であったという、現在科学者達の多くがほぼ確信している考えを表わしています。「あまねく森羅万象は、たった一つの“点”の爆発から生まれたのである！」このソロのあと、時間が生まれ宇宙が拡がってゆく“ビッグバンその後”の描写が続きます。続いては緩やかなセクション『孤独な惑星』で、地球の黙想録となっています。「太陽系内の他のどの星にも起こらなかつた奇蹟とも言える偶然が、地球の進化を“命を育む惑星”として導いてきた。そして今や我々は、遙かなる銀河に向かって毎日のように、他の知的生命体を探す調査を続けているのである。」最後は宇宙空間のいたるところに出現する『小惑星帯と流星群』で、これらは危険性があるものも無いものも選択の余地なく、地球へ頻りに迫ってきます。その情景を描写した後、『未知』への問いを内に秘めながら、壮大なエンディングへと向かいます。「我々が開発を推し進めてきた大宇宙への飽くなき探究は、我々の将来にさらなる文明の発展をもたらすのか、それとも破滅の時を暗示するものか……。」



松下浩之 プロフィール

1964年、神戸に生まれる。幼少より音楽に興味を持ち、6歳よりエレクトーンを始め、10歳で演奏活動を開始。中学校で吹奏楽部に入部。トロンボーンに出会う。この頃から約10年間にわたってピアノ、エレクトーン、作・編曲法、音楽理論、ソルフェージュなどを藤澤 功氏に師事する。高校時代より学生指揮を務め、数々のアレンジを手がける。1983年、大阪音楽大学音楽学部器楽学科トロンボーン専攻入学。トロンボーンを故 土橋康宏、呉 信一の両氏に、室内楽をD.ドワイヨン氏に師事。B.スローカー、D.ウィック、M.ベック、C.リンドベルイ、B.V.リール各氏のマスタークラスを受講。また、指揮法を辻井清幸氏に師事 (特別指揮法クラスを受講)。大阪音楽大学非常勤教育助手を経て1988年、大阪市音楽団に入団。在団中、約2,000ステージを多くの指揮者、ソリスト、作曲家と共に演。大阪市音楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、ジャパン・スーパー・バンド、広島ウインドオーケストラ、コンポーザーピアニスト山川亜紀オリジナルアルバムなど、100枚以上のCDアルバムで演奏。1992年、プラハの春国際音楽コンクール (チェコ) 入選。第1回全日本フランス音楽コンクール審査員賞 (管弦打楽器最高位)、第2回全日本ソリストコンテスト奨励賞 各受賞。第1回大阪国際室内楽コンクール入選。1994年度、月刊「バンド・ピープル」誌に“スペシャルエッセイ”を1年間執筆。2008年～ イギリス・ジラール女史とトロンボーン・デュオによるミニコンサートを連続開催。2009年、WDRケルン放送交響楽団トロンボーンセクションと共に。また同年、ハリー・リース氏率いる wes10 brass (金管アンサンブル) のドイツツアーに参加。現地紙にて高く評価される。同年度、月刊「バンド・ジャーナル」誌の“演奏に役立つ One Point Lesson”の講師を務める。2013年、25年在籍した大阪市音楽団を退団。フリーランスのトロンボーン奏者として活動。在阪、在京のオーケストラ、吹奏楽団の客演奏者としても多くのステージをこなしている。また、各地のスクールバンド、アマチュアバンド、官公庁音楽隊の指導や、吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト、ソロコンテストなどの審査、演奏会のプロデュース、作編曲、指揮・・・とマルチに活動。マウスピースメーカー willie'sよりシグネチャーモデル “Art's Opus” を発表。2014年、神戸で“吹奏楽鉄人のバンドクリニック”プロジェクト始動。現在、大阪音楽大学、神戸山手女子高等学校音楽科、ESA音楽学院 各講師。アポロ・トロンボーンカルテット、H・G・Q、MAH TRIO、KOBÉ TRIO、After Hours Sessionなどのメンバー。関西トロンボーン協会理事。日本トロンボーン協会、神戸音楽家協会、ほたる火コンサート協会 会員、伸縮倶楽部主宰。福祉の管弦楽団「まごころ」音楽監督・指揮者。A-Windsとは2012年以来、定期演奏会や吹奏楽コンクールにて客演指揮及びソロ・トロンボーン奏者として共演している。



A-Winds メンバー募集

- 募集パート
 - ・ Oboe _____ 1名
※ イングリッシュホルンも演奏できる方、イングリッシュホルンも持ち手の方、大歓迎です！
まずはご相談ください！！
 - ・ Eb Clarinet _____ 1名
 - ・ Bb Clarinet _____ 4名
 - ・ Bassoon _____ 2名
 - ・ Horn _____ 2名
 - ・ Tuba _____ 2名
 - ・ Contra Bass _____ 1名
 - ・ Stage Manager _____ 1名

- A-Winds の活動趣旨 (ウインドアンサンブル & オリジナル重視) に賛同頂ける方
- ご自分で楽器を準備できる方
- 18歳以上の方
- 全ての活動に賛同頂ける方
- 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は <e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp